

Q48. 赤ちゃんが生まれてすぐに行う早期母子接触には、どのような効果がありますか？ [CQ225]

赤ちゃんが生まれてすぐに行う早期母子接触には、母乳育児を促進し、赤ちゃんの心拍・呼吸・体温といった身体状況を安定させ、親子の絆を深める等の効果があります。ただし、事前に早期母子接触のメリットとデメリットについて、十分な説明を受けること、実施中は、赤ちゃんに心電図モニター等の医療機器を装着したり、お母さんと赤ちゃんの様子を医療者が継続的に観察することが求められています。

早期母子接触は、お母さんと赤ちゃんの状態が安定している場合、羊水で濡れている赤ちゃんの身体を拭いてあげた後に行います。お母さんと赤ちゃんの肌が直接触れ合うよう、お母さんの胸の間に赤ちゃんを包み込むように抱っこし、保温のために、温かい掛物で赤ちゃんを覆います¹⁾。

早期母子接触は、出生後できるだけ早期に、できるだけ長く実施することが勧められています²⁻⁵⁾。しかし赤ちゃんにとって、生まれた直後というのは、子宮内から子宮外への急激な環境の変化に適応している時期でもあります。そのため、稀に赤ちゃんの呼吸機能・循環機能が突然急変する可能性もあり、赤ちゃんの注意深い観察と管理が必要になってきます⁶⁾。

早期母子接触を実施するためには、妊娠中から、メリットだけではなく、デメリットについても十分に説明を受けておくことが大切です。また医療者は、出産後に早期母子接触の希望の有無をお母さんに再度確認したうえで、お母さんと赤ちゃんの状態が、早期母子接触を実施可能な状態であるかを評価しながら実施しています⁶⁾。

早期母子接触は図 8 のように行います。

出生後早期の新生児管理について、以下の点を心がけましょう。

新生児管理全般

新生児期は不安定な時期であり、予期せぬ重篤な症状が出現する可能性があることから、より慎重な観察を行い、観察した内容を記録する。

早期母子接触実施時の管理

実施前に

- ◆妊娠中に妊産婦・家族へ十分説明を行った上で、妊産婦・家族の早期母子接触実施の希望の有無を確認する。
- ◆早期母子接触の適応基準・中止基準に照らし、母子の状態が早期母子接触実施可能な状態であるか評価する。

実施にあたって

児の顔が母親からよく見える位置で行う。

上体挙上する
(30度前後が望ましい)。

児の顔色が悪い、呼吸がとまる、うなり声が出るなど、児の異変に気づいたら、すぐに報告するよう伝える。

温めたバスタオル等で児を覆う。

児の顔を横に向け鼻腔閉塞を起こさず、呼吸が楽にできるようにする。

医療関係者による母子の継続的な観察を行う。

または
新生児へのSpO₂モニタ、心電図モニタ装置等の機器による観察と医療関係者による頻回な観察を行う。

「早期母子接触」実施の留意点[※]では、「出生後早期から母子が直接肌を触れ合い互いに五感を通して交流を行うことは、人間性発達の面から見て、親子が育みあうという母子の当然の権利ともいえる。さらに、早期母子接触は科学的にその有効性が証明されているのみならず、一定の条件の下に安全に実施すれば決して危険ではない。」とされています。

注：「早期母子接触」実施の留意点[※]の詳細は、日本産婦人科・新生児医学会のホームページ(http://www.jpnm.com/sbsv13_8.pdf)等に掲載されています。

本リーフレットは、産科医療補償制度ホームページ(<http://www.sanka-hp.jcqhcc.or.jp/>)に掲載されています。

図 8 出生後早期の新生児管理について(産科医療補償制度再発防止委員会によるリーフレット「出生後早期の新生児管理について」より一部抜粋)

引用・参考文献

- 1) 公益財団法人日本医療機能評価機構 産科医療補償制度 再発防止委員会. 産科医療関係者の皆様へ
出生後早期の新生児管理について. 2016. http://www.sanka-hp.jcqhc.or.jp/documents/prevention/proposition/pdf/Saihatsu_sinseizikanri_sankairyokankeisya.pdf.
- 2) National Institute for Health and Care Excellence. Intrapartum care for healthy women and babies [CG190] version 2 (updated 2017). 2014.
<https://www.nice.org.uk/guidance/cg190/evidence/full-guideline-pdf-248734770>,
<https://www.nice.org.uk/guidance/cg190/resources/intrapartum-care-for-healthy-women-and-babies-pdf-35109866447557> [updated]
- 3) Moore ER, Bergman N, Anderson GC, Medley N. Early skin - to - skin contact for mothers and their healthy newborn infants. Cochrane Database of Systematic Reviews 2016, Issue 11. Art. No.: CD003519. DOI: 10.1002/14651858.CD003519.pub4.
- 4) Carfoot S, Williamson P, Dickson R. A randomised controlled trial in the north of England examining the effects of skin-to-skin care on breast feeding. *Midwifery* 2005; 21(1): 71-9. doi:10.1016/j.midw.2004.09.002.
- 5) contact after delivery on duration of breastfeeding: A prospective cohort study. *Acta Paediatr.* 2002; 91(12): 1301-6. doi:10.1080/08035250216102.
- 6) 日本周産期・新生児医学会理事会内「早期母子接触」ワーキンググループ. 「早期母子接触」実施の留意点. 2012. http://www.midwife.or.jp/pdf/h25other/sbsv12_1.pdf.